

## 英語科学習指導案

日時：2006年2月20日（月）4校時

生徒：黒松内町立白井川中学校 第1学年 女子1名 男子1名 計2名

授業者：中宮 久美子

1. 単元名 Program 11 “I Must Buy a Bathing Suit” Section 3

2. 単元について

現在完了の用法は3学年の始めにおいても再度取り上げられる内容であるが、その前段として2年生の終わり（Program11）で初めて導入される。現在完了は、既に学習した過去形・現在形に慣れている生徒にとってはその意味の違いを理解することが難しい。①継続、②経験、③完了の用法、全てが過去と現在の関わりを表すものであることを理解できるよう工夫したい。また、この単元ではオーストラリアでの生活や文化、買い物をするときの定型表現などについても触れられている。この題材を通して異文化に対する理解を深め、世界の人々とコミュニケーションを図ろうとする意欲を培いたい。

3. 研究とのつながり

**仮説1** 教材や学習課題の提示の仕方を工夫することにより、生徒は課題意識を持って意欲的に学習に取り組むことができる。

\* 本時の目標を生徒にとってわかりやすい場面と方法で提示（黒板掲示）する

\* 現在完了の用法を感覚的に意味をとらえることができるような教材の工夫→**副教材**

\* 不規則動詞を楽しく効率的に覚えることができるような教材の工夫

→**不規則動詞学習カード**

**仮説3** 評価の観点や個に応じた指導の手だてを明確にし、一人一人の学習状況に応じて成果を認め、励ますことにより、生徒は更に自己を高めるよう取り組むことができる。

\* 自信を持って発表できるようにステップを踏んで活動を進める→**発音の事前練習**

\* 書くことの苦手な生徒への支援→**つづりの変化を指摘** **適切な声かけ・注意の喚起**

4. 単元計画・評価規準（9時間）

時数	学習目標・学習内容	評価規準
2	<p>Section1</p> <p>○現在完了の概要と現在完了【継続】の用法を正しく理解し運用する</p> <p>1. 現在完了の意味（過去形・現在形との違い）を理解する</p> <p>2. 現在完了【継続】の用法を理解し、習得する</p> <p>* ワークを使って基本的な文法（have＋過去分詞）を理解する</p> <p>* プリントで練習問題を解く（【継続】でよく使われる語を知る）</p> <p>* 現在完了【継続】の文が使われている教科書本文を理解する</p> <p>* オーストラリアについて知る（ワーク参考資料参照）</p> <p>* ワークで新出単語、語句を再度確認しまとめる</p>	<p>* 現在形の文から現在完了形の文を作る際、説明を聞きながら文法に従って質問に正しく答えることができる。（理解）</p> <p>* 要点のまとめを見ながら空所に適語を入れることができる（言・文）</p> <p>* 練習問題の基本的な部分に正しく応えることができる（言・文）</p> <p>* 解らない単語や表現を調べたり、質問をしたりする（関・意・態）</p> <p>* 教科書本文を正しく訳すことができる（理解）</p> <p>* オーストラリアについて質問をしたり、自分の知っていることなどを積極的に発表したりする（興味・関心）</p>
2	<p>Section2</p> <p>○現在完了【経験】の用法を正しく理解し運用する。</p> <p>1. 単語テストをする</p> <p>2. 前時の確認をする</p> <p>3. 現在完了【経験】の用法を理解し、習得する</p> <p>* ワークを使って基本文を理解し練習する</p> <p>* プリントで練習問題を解く（【経験】でよく使われる語を知る）</p> <p>* 現在完了【経験】の文が使われている教科書本文を理解する</p> <p>* 買い物 of 定型表現を習得する</p> <p>* ワークで新出単語、語句、表現を再度確認しまとめる</p>	<p>* 現在完了の用法について概要を説明することができる（言・文）</p> <p>* 現在形の文から現在完了形【継続】の文を作ることができる（言・文）</p> <p>* 現在完了【継続】でよく使われる語句やその例文をこたえることができる（表現）</p> <p>* 要点のまとめを見ながら空所に適語を入れることができる（言・文）</p> <p>* 練習問題の基本的な部分に正しく応えることができる（言・文）</p> <p>* 解らない単語や表現を調べたり、質問をしたりする（関・意・態）</p> <p>* 教科書本文を正しく訳すことができる（理解）</p>
3	<p>Section3</p> <p>○現在完了【完了】の用法を正しく理解し運用する。</p> <p>1. 単語テストをする</p> <p>2. 前時の確認をする</p> <p>3. 現在完了【完了】の用法を理解し、習得する</p>	<p>* 正しく単語が書ける（表現）（関・意・態）</p> <p>* 現在完了の用法について概要を説明することができる（言・文）</p> <p>* 現在完了【経験】でよく使われる語句やその例文を言うことができる（表現）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>* ワークを使って基本文を理解し練習する</li> <li>* プリントで練習問題を解く （【完了】でよく使われる語を知る）</li> <li>* 現在完了【完了】の文が使われている教科書本文を理解する</li> <li>* オーストラリアの生活・文化について理解する</li> <li>* ワークで新出単語、語句、表現を再度確認しまとめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 要点のまとめを見ながら空所に適語を入れることができる（言・文）</li> <li>* 練習問題の基本的な部分に正しく応えることができる（言・文）</li> <li>* 解らない単語や表現を調べたり、質問をしたりする（関・意・態）</li> <li>* 教科書本文を正しく訳すことができる （理解）</li> <li>* オーストラリアの生活や文化について質問をしたり、自分の知っていることなどを積極的に発表したりする（関・意・態）</li> </ul>
<b>1</b> <b>本時</b>	<p>○現在完了【完了】の意味と用法を再確認する</p> <p>○不規則動詞の活用を覚える①</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 既習事項（現在完了）の確認</li> <li>2. プリント（副教材）を使って現在完了【完了】の文を作る</li> <li>3. 不規則動詞の活用を練習する</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 意味や綴りを意識して発音練習をする。</li> <li>* カードを使ってゲームをする</li> <li>* 活用表に不規則動詞を書き入れる（writing への意欲付け）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 1つの状況場面設定の中で現在完了【完了】の意味をとらえ、絵を見て積極的に英文を作ろうとする（関・意・態）</li> <li>* 現在完了【完了】の文を、文法に従って正しく作ることができる（言・文）</li> <li>* 活用を覚えようと大きな声で繰り返し練習をする（関・意・態）</li> <li>* ゲームに意欲的に取り組んでいる （関・意・態）</li> <li>* カードを正確に並べることができる （言・文）</li> <li>* 不規則動詞を正しく書くことができる （表現）</li> </ul>
<b>1</b>	<p>Check and Use</p> <p>○Program11の既習事項の理解度を確認し、既習表現を使ってコミュニケーション活動をする</p> <p>○不規則動詞②の活用を覚える</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 単語テストをする</li> <li>2. 活用表のテストをする</li> <li>3. 現在完了の文法を確認する</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>* リスニング、対話練習、確認問題</li> <li>4. コミュニケーション活動</li> <li>* 買い物場面でのリスニング、対話練習</li> <li>5. 不規則動詞の活用を練習する</li> <li>* 意味や綴りを意識して発音練習をする。</li> <li>* カードを使ってゲームをする</li> <li>* 活用表に不規則動詞を書き入れる（writing への意欲付け）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 正しく単語が書くことができる（表現）</li> <li>* 例にならって現在完了を使った簡単な対話をする ことができる（理解）</li> <li>* 空所に適語を入れることができる（言・文）</li> <li>* 簡単な対話を聞き取ったり、役割練習をしたり することができる（理解）</li> </ul>

5. 本時の目標

① 現在完了【完了】の意味と用法を再確認する

② 不規則動詞の活用を覚える①

6. 本時の展開 (8/9)

	生徒の活動・評価規準	教師の指導・支援	備考
導入全	☆ 始めの挨拶 ☆ 現在完了の全体像を再確認する	☆ <u>始めの挨拶</u> ☆ <u>生徒に質問をしながら既習事項を板書し整理する</u>	既習事項を確認し本時の活動の準備をする
導入①	1. 本時の目標①とその意味を理解する	1. <u>本時の目標①を掲示し、その意図を説明する</u>	* 次の活動が現在完了【完了】についてだということとを意識させる(学習の到達点を示し活動に対する意欲的な姿勢・態度を持たせる) <b>仮説1</b>
展開①	2. 現在完了の【完了】を使った英文を作る (1) プリント①の絵をよく観察し場面設定と絵の中にある情報を覚える (2) プリント②に記憶とリストアップされた語句を頼りに現在完了【完了】の英文を書く <b>(関・意・態)</b> (3) 再度プリント①の絵を観察し必要な情報を得て、英文を完成させる <b>(言・文)</b> (4) 答えを発表する	2. <u>プリント(副教材)を使って現在完了【完了】を運用させる</u> (1) プリント①を配布。絵の中の人物や物、場面設定について簡単に英語で説明をし、その絵を30秒間みせる (2) プリント②を配布。語句の確認し、英文を記入させる (3) 再度プリント①の絵を30秒間見せ、英文を完成させる (4) 語句の発音を再度確認後、英文を発表させる	* 特定の場面設定の中で現在完了を運用させることにより、感覚的に意味をとらえることができるようにする <b>仮説1</b> * 後で覚えたことを英文で書くことを予告し、注意を喚起する * 「自分で探して書きたい」という欲求を持たせるため、時間を短めに切って2度目のチャンスへの意欲づけをする * スタートでつまづかないように語句を一緒に確認し、使用する動詞には不規則動詞が1つだけ入っていることをヒントとして与える * 必要に応じて個々の生徒にヒントを与える * 堂々と発表ができるように発音の練習を発表前にさせる <b>仮説2</b>
まとめ①	3. 現在完了が使われる1つの状況設定場面とその用法を再確認する	3. <u>現在完了【完了】が「どのような場面に使われるか」とその用法について口頭でまとめる</u>	

<p>導入 ②</p>	<p>1. 本時の目標②とその意味を理解する</p>	<p>1. <u>本時の目標②を提示し、その意図を説明する</u></p>	<p>* 次の活動が不規則動詞を覚え直すことであることを意識させる（学習の到達点を示し活動に対する意欲的な姿勢・態度を持たせる）  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">仮説 1</span></p>
<p>展開 ②</p>	<p>2. 不規則動詞の活用を暗唱する  (1) 活用表を見て、意味と活用、綴りを覚えながら発音練習をする <b>（関・意・態）</b>  (2) 活用表を見ないで教師の指示に従って活用を答える  (3) 不規則動詞のカードを正しく並べ、発音する〔練習前〕  (4) カードを使ってゲームをする  （カルタ取り、神経衰弱）  (5) 不規則動詞のカードを正しく並べる〔練習後〕 <b>（言・文）</b></p>	<p>2. <u>不規則動詞の活用を練習させる</u>  (1) 教師の後について発音練習をさせる  (2) 原形→活用、意味→活用を引き出し、リズム良く暗唱させる  (3) 各自に1セットカードを渡し、活用表を見ずに正しく並べるように指示する。発音を確認させる  (4) カルタ：教師が日本語を読み上げる。  神経衰弱：教師も含め3人で行う  (5) 再度、カードを正しく並べ発音させる</p>	<p>* 意味とつづりの変化を指摘しながら練習をさせる <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">仮説 2</span>  * 活動後書くことに挑戦することも伝え、活動の意欲づけをする  * リズムの中で覚えられるようにテンポ良く練習をさせると共に、どの程度暗唱できたかを確かめる  * ゲームを通じて自然に不規則動詞を習得できるようにする <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">仮説 1</span>  * どの程度暗唱できたか、正しく発音できるかを確かめる  * ゲームの活動中もつづりを意識するように声かけをする <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">仮説 2</span></p>
<p>まとめ ②</p>	<p>3. 不規則動詞の活用を書く  (1) 活用表に不規則動詞を書き入れる <b>（表現）</b>  (2) 表を見て答え合わせをする</p>	<p>3. <u>不規則動詞の活用を書かせる</u>  (1) 活用表の空欄に適語を入れるように指示する  (2) 各自、自分の書いたつづりを活用表を見てチェックし、間違えたものは正しく記入するように支持する</p>	<p>* 間違えても良いので発音から想像して自分の思うつづりを記入するように励ます <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">仮説 2</span></p>
<p>まとめ 全</p>	<p>☆ 宿題（不規則動詞のテスト勉強）と次時の授業の内容を知る。  ☆ 終わりの挨拶</p>	<p>☆ <u>今回学習した不規則動詞を次の時間にテスト（書く）することを伝える</u>  ☆ <u>終わりの挨拶</u></p>	